世界へとびたて『日本食』
～日本を超えたその先に～

応募区分…中学

チーム ID…SL801172

チーム名…かつぞう、日本食を食べる。

学校名…立教池袋中学校

リーダー…中学２年　田村　有旦

メンバー…中学２年　芦澤　恵祐

中学２年　島村　一澄

中学２年　村上　継人

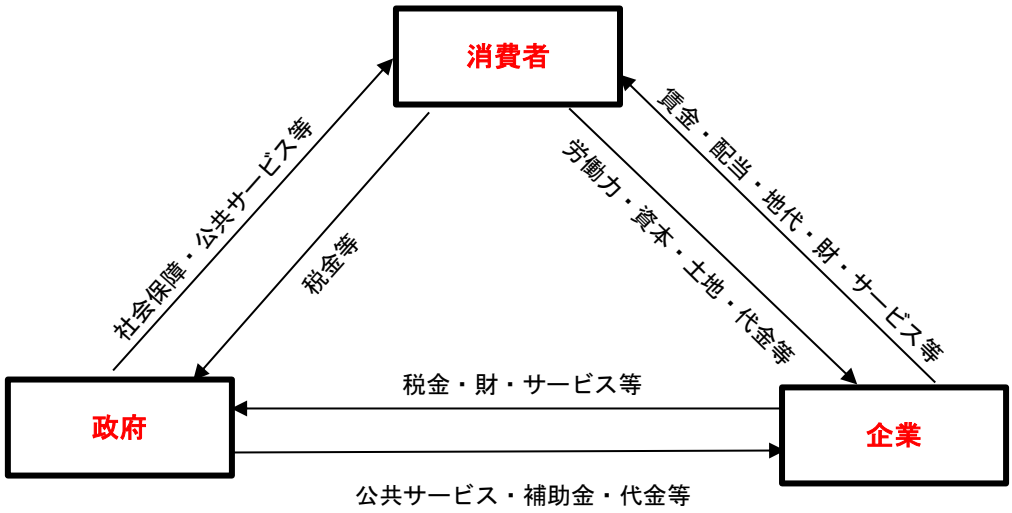
指導教員…内田　芳宏

【基礎学習(必須)】

＊別添の学習ガイドブックをチーム全員がしっかり読んだ上で、必ず、すべての設問に解答してください

1　経済とは、（ **財** ）や（ **サービス** ）を生産し、流通させ、消費することをいう。

2　下の図は、一国の経済を構成する経済主体間の主な関係を示している。空欄の３つの各主体は何か？



3　「人口減少社会」に関する次の説明文のうち、誤っているものは？

（ **a** ）

a．日本の出生数は、これまで 100 万人を下回った年はない。

b．日本の総人口のピークは 2008 年の 1 億 2808 万人である。

c．消滅可能性都市とは、少子化や人口流出が止まらず、将来、消滅する可能性のある自治体のことを指す。

d．人口減少は、消費、貯蓄（投資）、生産などに関わる人が減ることにつながり、経済への影響は大きい。

4　政府では、一人ひとりの意思や能力、個々の事情などに応じて（ **柔軟な働き方** ）を選択できる社会を目指す「働き方改革」を進めることで、人々の（ **ワーク・ライフ・バランス** ）の実現と（ **生産性の向上** ）を両立できる企業文化や風土をつくろうとしている。

5　近年、性別や年齢、言語、宗教、民族など（ **多様な視点** ）を持ったメンバーで企業などの組織を構成した方がパフォーマンスが上がるという考え方から、（ **ダイバーシティ** ）の重要性が指摘されている。

6　グローバル化の進展に関する次の説明文のうち、誤っているものは？　（ d ）

a．先進国の企業が行う発展途上国への投資には、双方に様々なメリットがある。

b．グローバル化の進展によって異文化交流が進み、新たな文化が生まれる可能性が高まる。

c．近年は、自由貿易協定（ＦＴＡ）や経済連携協定（ＥＰＡ）など、二国間や少数の国・地域間で貿易協定を結ぶ動きが増えている。

d．2015 年の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（ＳＤＧs)」は、発展途上国が抱える課題の解決を目指したものである。

7　ＧＤＰ（国内総生産）に関する次の説明文のうち、正しいものは？　（ b ）

a．ＧＤＰとは、一定期間に国内で生産されたモノやサービスの付加価値の合計額で、
海外で働いている日本人が生み出した所得も含まれる。

b．ＧＤＰには名目ＧＤＰと実質ＧＤＰとがあり、その違いは物価の変動分を考慮するかどうかにある。

c．実質ＧＤＰが名目ＧＤＰを上回っている状態は、日本がインフレ状態にあることを示している。

d．国民一人あたりのＧＤＰが増加しても、私たちの所得には影響がない。

8　お金を貸し借りする「金融」の形態としては、借り手が貸し手から直接お金を融通してもらう（ **直接金融** ）と、銀行などの金融機関が仲介して貸し手と借り手を間接的に結びつける（ **間接金融** ）とがある。

9　日本の金融政策に関する次の説明文のうち、誤っているものは？　（ c ）

a．日本銀行が金融政策を行う目的は、「国民経済の健全な発展」に不可欠な「物価の安定」を図ることにある。

b．デフレ脱却のため、1999年から2000年にかけて「ゼロ金利政策」が実施された。

c．2001年から始まった「量的緩和政策」には、金融機関がもつ国債などを日本銀行が買い入れることで、金融機関の当座預金残高を増やそうとするねらいがある。

d．2016年1月に決定した「マイナス金利」は、金融機関が日本銀行に持つ当座預金の全額に適用される。

10　株式を所有する金銭的なメリットとしては、インカムゲインと呼ばれる（ **配当金** ）と、キャピタルゲインと呼ばれる（ **売却益** ）がある。

11　次のうち、現在の企業価値（株価）が割高か割安かを判断するための指標は？
（ c ）

a．ＲＯＥ　　b．自己資本比率　　c．ＰＥＲ　　d．純利益

12　株式投資のリスクを少なくする方法には、（ **投資先** ）を分散させることや、投資する（ **時間** ）を分散することなどがある。

要旨

私たちは『日本食』をテーマにし、日経 STOCK リーグを進めた。単に日本食と言っても、寿司やそばなど、いわゆる『和食』とは違い、私たちが日経 STOCK リーグを進めるにあたって、独自で定めた世界に勝てる食料品の総称が『日本食』なのである。ただし
『日本食』になるには絶対的な条件があり、それは「メイドインジャパン」であること。
私たちはそんな『日本食』の強みは、現在世界人口は増加傾向であるため、「メイドインジャパン」というブランドカを用いて海外展開を行うことによる利益の増加にあると考えた。

目次

1. 投資テーマについて……P4

1-1. 投資テーマの選定……P4
1-2. 企業訪問……P4
1-2-1. 企業訪問の概要
1-2-2. イシダ株式会社
1-2-3. 株式会社イトーヨーカ堂
1-2-4. キリン株式会社
1-2-5. 日清食品株式会社
1-3. テーマの柱……P7
1-3-1. 日本食の定義
1-3-2. 私たちの日経 STOCK リーグの柱

2. スクリーニングについて……P9

2-1. スクリーニング……P9
2-1-1. スクリーニングの概要
2-1-2. 第一スクリーニング
2-1-3. 第二スクリーニング
2-1-4. 第三スクリーニング
2-1-5. 第四スクリーニング
2-2. ポートフォリオの作成……P11
2-3. ポートフォリオについて……P14

3. 投資家へのアピール……P21

3-1. 投資テーマの優位性……P21
3-2. ポートフォリオの構成について……P22
3-3. 評価額の推移について……P22

4. 日経 STOCK リーグを通して学んだこと……P26

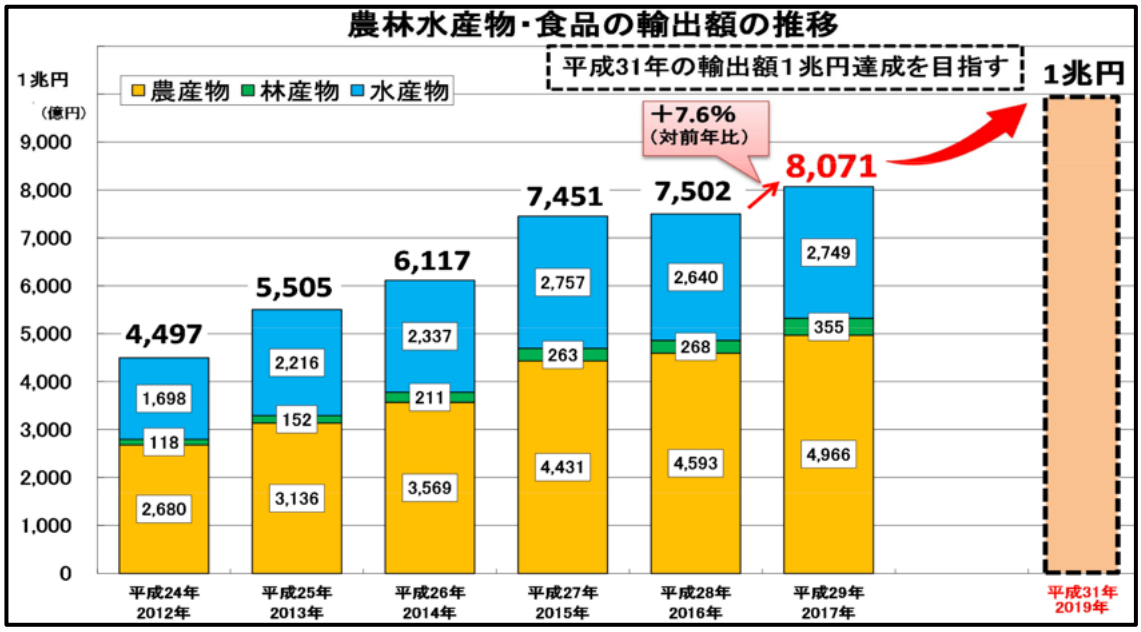
5. 参考文献……P27

1. 投資テーマについて

1-1. 投資テーマの選定

まず、私たちの中でどのようなテーマにするかの話し合いを持った。その際に『食品』や『メイドインジャパン』など９つの案が出た。なかなか決まらずに１ヶ月ほど過ぎた頃、立教大学で『食のグローバル化』の講演会があると聞き、その講演会に私たちは参加をした。２０１８年６月１９日に行われたその講演会は、食に関わる大手企業のイシダ株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、国分グループ本社株式会社、キリン株式会社によるもので、とてもためになる講演会だった。この講演会に後を押され、私たちは『食品』というテーマにした。しかし、『食品』では、テーマとして広すぎるため、私たちの中で出ていた『メイドインジャパン』と合わせ、『日本食』というテーマにした。

テーマが決まり、『日本食』の定義を調べたが、あいまいなものだったため、私たちで定義について考えた。その結果、世界で勝てる、世界に誇れる日本の食品という定義になった。下の図は昨年までの６年間の食品の輸出額を表した表である。（出典：農林水産省ホームページ）この表が示すように近年日本の食品は成長が進んでいる。



また、現在海外では日本食ブームになっている。例として、ラーメン、牛丼、そばなどが挙げられる。このような例もあるため、『日本食』だったものが世界で人気になり『世界食』になれることも夢ではない。

1-2. 企業訪問

1-2-1. 企業訪問の概要

私たちはより『日本食』についての理解を深めるため立教大学での『食のグローバル化』の講演会でそこで講演をしていた４社および実際に『日本食』から『世界食』になる食品を

作っていると私たちが思った２社（日清食品株式会社、キッコーマン株式会社）に企業訪問の依頼をした。そして、イシダ株式会社、株式会社イトーヨーカ堂、キリン株式会社は企業訪問、日清食品株式会社からはメールでの回答をいただいた。

1-2-2. イシダ株式会社

２０１８年８月２１日にイシダ株式会社へ企業訪問をし、以下の質問に対する回答をいただいた。イシダ株式会社は『食のインフラ』とも呼ばれる食品の製造を行う機械や検査などを行う機械などを製造している企業である。

1. なぜイシダの製品は信頼されているのか。
→歴史が長く、食の安全に関してのトップメーカーだから。
2. 「メイドインジャパン」はなぜ信頼せれているのか。
→精密さ、安心安全の追求、製品の技術力、日本人にしかできない細かい作業、アフターサポートの充実など
3. 海外でのシェアの割合はどのくらいなのか。
→世界で２位だが食品の安全性のフォローはおそらく１位。海外売上比率が今は４割のため５割にしていきたい。
4. 今のイシダの技術力はどのようにして培ってきたのか。
→オーダーメードになるべく早く応えている。どのような要望にも研究テーマが先に来て、そのテーマをどのように解決するかを考え、テストなどを精密に行い、制作期間を長くしてまでも、要望に沿える製品を作ってきた。

1-2-3. 株式会社イトーヨーカ堂

２０１８年８月２４日に株式会社イトーヨーカ堂へ企業訪問をし、以下の質問に対する回答をいただいた。株式会社イトーヨーカ堂は、セブン＆アイ・ホールディングス傘下の総合スーパーのイトーヨーカドーを経営する企業である。

1. 海外に展開していくにあたり、自社のプライベートブランドで展開していくのか。それともイトーヨーカ堂の店舗で展開していくのか。また、海外に現在展開している店舗数が８店舗しかないが、総合スーパーは海外に進出し、海外でのニーズを勝ち取るというのは難しいのか。
→海外のイトーヨーカ堂とは、親会社子会社という関係ではなく、海外は海外で別に自国のニーズに応えるために努力している。あくまでも同じ事業会社として対等な立場である。海外では生活習慣や商売方法が違うため、そこで苦労している。
2. 今後どのように海外展開をしていくのか。
→海外にむやみに展開していくのは難しく、いずれ破綻してしまう。イトーヨーカ堂は国

内で地盤を固めて、確固とした地位まで上り詰めたところで余裕ができてから海外展開をしていく。

3. 消費者のニーズの変化にはどのようにいち早く対応しているのか。また、消費者のニーズに応えるプライベートブランド商品の開発ではどのように似た商品などと差別化を図っているのか。

→値段で差別化を図っている。プライベートブランド商品の制作の流れは、とにかく安心安全なものを作り、作り終えた後に値段を決めている。いちばんの差別化は自社でのプライベートブランド商品の販売というところで、安心安全、量と質、様々な情報の公開という特徴がある。また、最近は働く女性や高齢者のニーズに応えている。ネットショッピングではなく、「ネットスーパー」という形を取っていて、利用し、商品を買った際、実際に店で包装し、店から配送することで、まるで本当にスーパーで買い物をしているかのようなサービスも提供している。

1-2-4. キリン株式会社

２０１８年８月３１日にキリン株式会社への企業訪問をし、以下の質問に対する回答をいただいた。キリン株式会社はキリンホールディングス傘下の飲料事業を手がけている企業である。

1. 海外で事業を展開しているエリアの客のニーズはどのようなものなのか。

→どのような機会に製品を飲んでもらえるのかを考えている。例えば中国では、中国の人はあまりビールを飲まないが、飲み会の時に沢山飲んでいるから、この際に飲んでもらえるような製品を作っている。作る際のベースとしては日本食を食べる際に日本の製品を飲んでもらうということを考えながら作っている。

2. 海外売上比率でオセアニアが４分の３を占めていたが、その要因とはどのようなものか。

→オセアニアの人たちは日本に対して親近感を持っている。あらゆる企業が製品をオセアニアに広めることが多いのはそのためである。

1-2-5. 日清食品株式会社

日清食品株式会社からは、以下の質問に対する回答をメールでいただいた。日清食品株式会社は、カップヌードルなど世界で大人気の食品を作っている食品メーカー大手の企業である。

1. 「メイドインジャパン」の付加価値とは何か。

→海外で販売している「カップヌードル」をはじめとする製品は、現地生産・現地販売が原則で、日本から輸出しているものはごくわずか。理由としていちばん大きいのは、日本で販売されている商品をそのまま海外で販売しても外国人の見た目に合わないため。また、食品に対する法規制は国ごとにそれぞれで、日本の製品をそのまま輸出できないことが多いため、輸送コストが高くつくため。したがって、海外で販売している製品のほとんどは「メイドインジャパン」ではない。ただし、海外では日本食ブームのため、日本っぽさ

をイメージした商品を販売している。

2.「メイドインジャパン」と名乗ることでの海外での売り上げはどうなのか。

→「チキンラーメン」から始まったインスタントラーメンは、６０年ほどで、世界での１年間の総需要が１０００億食を超える「世界食」に成長している。海外で製造・販売している商品は「メイドインジャパン」ではないが、インスタントラーメンの元祖とであることをかいがいでも消費者に伝えることで、ブランディングにつなげている。

3.「カップヌードル」以外で主に海外でどのような製品が売れているのか。また、どのような製品を開発しているのか。

→香港では「出前一丁」が袋麺の代名詞と言えるほど大人気で、多くのレストランで「出前一丁」の麺が使われるほどで、香港人にとってのソウルフードといっても過言ではない。このような、現地の人々になくてはならない、愛される商品を目指し開発している。

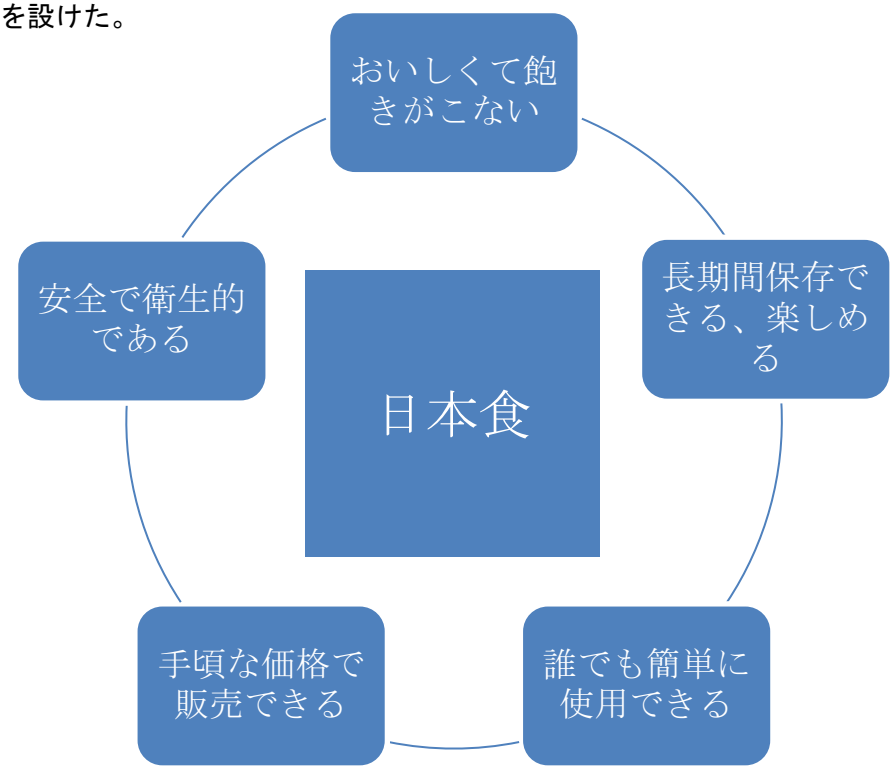
4. これからはどのような製品を開発していきたいと思っているか。

→世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を開発する際、①美味しくて飽きのこない味にする、②常温で長期間保存できる、③簡単に調理できる、④手頃な価格、⑤安全で衛生的なものにする、という５つの原則を掲げていた。食習慣や味の好みは、国ごとに様々なため、それらに合わせて商品開発する必要があるが、この５原則だけは、今でも食品を開発する際の基本的な考えとして守っていく。

1-3. テーマの柱

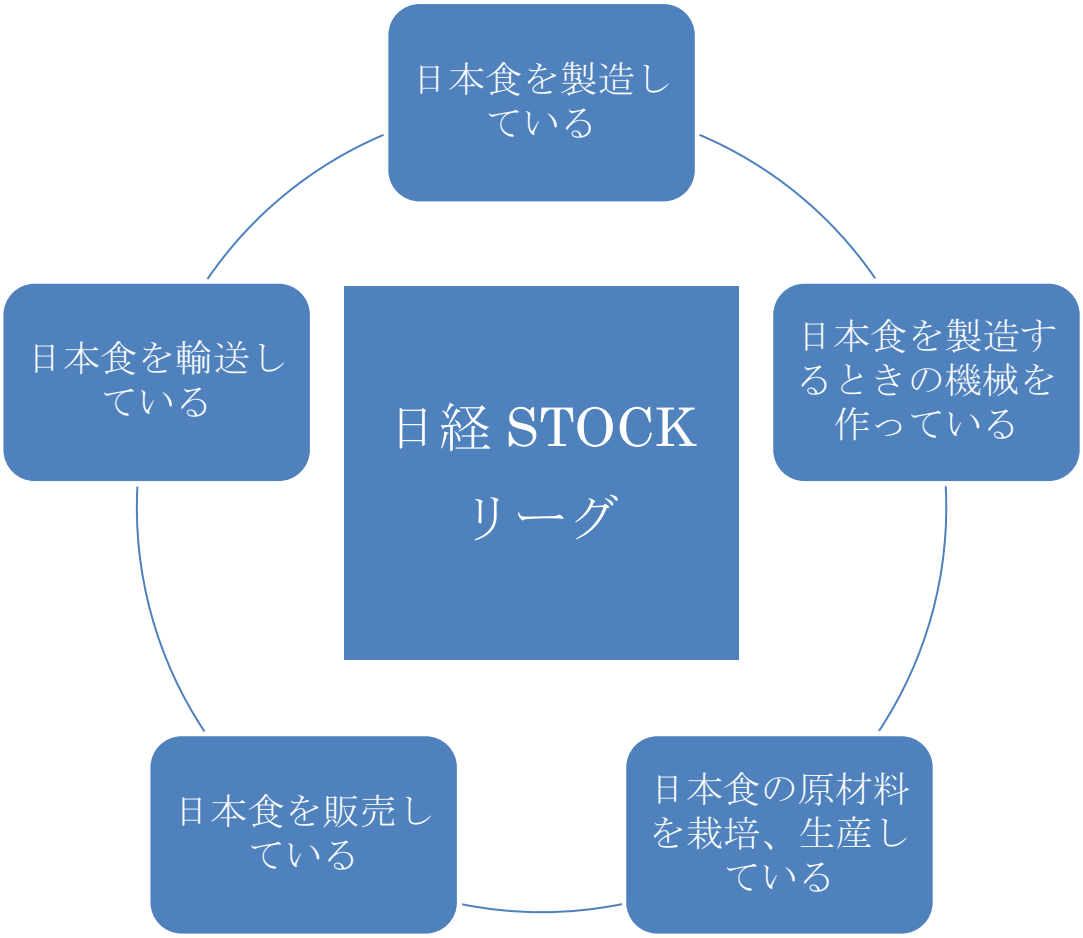
1-3-1. 日本食の定義

私たちはテーマの柱を考えるにあたり、まず私たちのテーマにもある『世界に勝てる日本食』の定義をはっきりさせるため、企業訪問の際にいただいた返答に基づいて『日本食の５つの柱』を設けた。



1-3-2. 私たちの日経 STOCK リーグの柱

日本食の定義を定めた後、私たちが日本食を食べる前にどのような過程があるのかを話し合い、案を出した。その結果、私たちの日経 STOCK リーグの柱は、下の５つの柱に決定した。



2.スクリーニングについて

2-1.スクリーニング

2-1-1.スクリーニングの概要

今回私たちは、４段階のスクリーニングを経てポートフォリオを構築した。第一スクリーニングでは、『食品』に関わりがあると思った業種で絞り、第二スクリーニングでは、イトーヨーカ堂への企業訪問の際に、むやみに海外に展開していくのは難しいと聞き、そこで、自己資本比率の低い企業を除外した。そして、第三スクリーニングでは、第一スクリーニングだけでは、『食品』に関わりがない企業が残っているため、その企業を除外した。最後の第四スクリーニングでは、経済指標で得点化を行い、得点の高い企業に投資することにした。

2-1-2.第一スクリーニング

第一スクリーニングでは、１７業種区分のうち、食品、商社・卸売、小売、機械の４業種を選出した。その結果１０３７社を選出した。

2-1-3.第二スクリーニング

第二スクリーニングでは、概要にもある通り、イトーヨーカ堂への企業訪問の際に聞いた、むやみに海外に展開していくのは難しいということを参考に、海外展開していくのには自己資本比率が高い方が優位性を保てると考え、自己資本比率が４０%の以下の企業を除外した。その結果２９９社となった。

2-1-4.第三スクリーニング

第三スクリーニングでは『食品』に何かしら関わっている企業を選出した。その結果以下の６６社となった。

1376	カネコ種苗	3177	ありがとうサービス
1381	アクシーズ	3317	フライングガーデン
1384	ホクリョウ	3355	クリヤマホールディングス
2003	日東富士製粉	4404	ミヨシ油脂
2004	昭和産業	6143	ソディック
2053	中部飼料	6237	イワキ
2055	日和産業	6248	横田製作所
2107	東洋精糖	6265	妙徳
2109	三井製糖	6277	ホソカワミクロン
2208	ブルボン	6291	日本エアーテック
2217	モロゾフ	7433	伯東
2281	プリマハム	7456	松田産業
2599	ジャパンフーズ	7475	アルビス
2613	J‐オイルミルズ	7504	高速

2664	カワチ薬品	7508	G-7 ホールディングス
2722	アイケイ	7544	スリーエフ
2729	JALUX	7559	ジーエフシー
2730	エディオン	7561	ハークスレイ
2753	あみやき亭	7614	オーエムツーネットワーク
2806	ユタカフーズ	7646	PLANT
2814	佐藤食品工業	8006	ユアサ・フナショク
2820	やまみ	8038	東都水産
2876	ジェーシー・コムサ	8044	大都魚類
2903	シノブフーズ	8167	リテールパートナーズ
2907	あじかん	8198	マックスバリュ東海
2914	日本たばこ産業	8278	フジ
2917	大森屋	9823	マミーマート
2924	イフジ産業	9955	ヨンキュウ
2927	AFC‐HDアムスライフサイエンス	9972	アルテック
3050	DCM ホールディングス	9977	アオキスーパー
3080	ジェ―ソン	9994	やまや
3087	ドトール・日レスホールディングス	9996	サトー商会
3176	三洋貿易	9997	ベルーナ

2-1-5. 第四スクリーニング

第四スクリーニングでは、６６社を１０点満点で得点化を行い、得点の上位８社とその８社を除く、４業種（食品、商社・卸売、小売、機械）の中のそれぞれ上位３社の計１２社を選出し、その２０社を投資先企業とする。得点化の方法および投資先企業は以下の通りである。ただし、得点が並んだ企業がある場合、自己資本比率が高い企業を上位としている。

得点化の方法

PER（株価収益率）			
5 倍以上 10 倍未満	2 点	10 倍以上 15 倍未満	1 点
ROE（株主資本利益率）			
15%以上	2 点	10%以上 15%未満	1 点
PBR（株価純資産倍率）			
1 倍以上 1.1 倍未満	2 点	1.1 倍以上 1.2 倍未満	1 点
ROA（総資産利益率）			
10%以上	2 点	5%以上 10%未満	1 点
自己資本比率			
70%以上	2 点	40%以上 70%未満	1 点

投資先企業２０社

1381	アクシーズ	6143	ソディック
1384	ホクリョウ	6237	イワキ
2107	東洋精糖	6248	横田製作所
2722	アイケイ	6265	妙徳
2753	あみやき亭	6277	ホソカワミクロン
2814	佐藤食品工業	6291	日本エアーテック
2917	大森屋	7544	スリーエフ
3176	三洋貿易	7599	ジーエフシー
3317	フライングガーデン	7614	オーエムツーネットワーク
3355	クリヤマホールディングス	8167	ツテールパートナーズ

2-2. ポートフォリオの作成

私たちはそれぞれの投資金額を決めるため、投資先企業２０社を再度得点化した。投資金額の決定方法および得点化の方法は以下の通りである。

投資金額の決定方法（A 社の場合）

$$\frac{A\text{社の得点}}{\text{２０社の得点の和}} \times \textit{５００万円}$$

得点化の方法

得点化は５０点満点の基本点と５０点満点の経済指標点で行なった。基本点は私たちの日経 STOCK リーグの柱に１つ関わっているごとに１０点という評価だ。経済指標点は PER、EPS、PBR、BPS、ROE、ROA、自己資本比率と年初来高値の日付、年初来安値の日付、実施時の終値に対する年初来高値・安値の差の割合の１０項目でそれぞれ５点満点だ。PER、EPS、PBR、BPS、ROE、ROA、自己資本比率については私たちが最適だと思った基準で得点かを行なった。たとえば PER であれば、本来ならば低い方が割安で良いとされるが、低すぎても業績等に問題等がある可能性があるため５倍以上１０倍未満を最適としている。また、年初来高値の日付、年初来安値の日付については、購入するにあたり年初来高値の日付が購入時に近いほどまだまだ上がる可能性を秘めていると考え、年初来安値の日付が購入時に近いほど、これから上がる可能性は低いと考え、以下のような基準に設定した。最後に、施時の終値に対する年初来高値・安値の差の割合については、この割合が低いほど株価が安定していると考えられるため、以下のような基準にした。

経済指標点(50 点満点)				
①	PER(株価収益率)			
	5 倍以上 10 倍未満	5 点	5 倍未満 10 倍以上 15 倍未満	4 点
	15 倍以上 20 倍未満	3 点	20 倍以上 50 倍未満	2 点
	50 倍以上 100 倍未満	1 点	100 倍以上	0 点
②	EPS（1 株当たり純益率）			
	300 円以上 400 円未満	5 点	400 円以上 500 円未満 200 円以上 300 円未満	4 点
	500 円以上 150 円以上 200 円未満	3 点	100 円以上 150 円未満	2 点
	50 円以上 100 円未満	1 点	50 円未満	0 点
③	PBR(株価純資産倍率)			
	1 倍以上 1.1 倍未満	5 点	1 倍未満 1.1 倍未満 1.2 倍未満	4 点
	1.2 倍以上 1.3 倍未満	3 点	1.3 倍以上 1.5 倍未満	2 点
	1.5 倍以上 2 倍未満	1 点	2 倍以上	0 点
④	BPS(1 株当たり純資産)			
	500 円以上	5 点	400 円以上 500 円未満	4 点
	300 円以上 400 円未満	3 点	200 円以上 300 円以上	2 点
	100 円以上 200 円未満	1 点	100 円未満	0 点
⑤	ROE(株主資本比率)			
	15%以上	5 点	10%以上 15%未満	4 点
	8.5%以上 10%未満	3 点	5%以上 8.5%未満	2 点
	1%以上 5%未満	1 点	1%未満	0 点
⑥	ROA			
	15%以上	5 点	10%以上 15%未満	4 点
	8.5%以上 10%未満	3 点	5%以上 8.5%未満	2 点
	1%以上 5%未満	1 点	1%未満	0 点
⑦	自己資本比率			
	70%以上	5 点	10%以上 15%未満	4 点
	20%以上 40%未満	3 点	0%以上 20%未満	2 点
	－10%以上 0%未満	1 点	－10%未満	0 点
⑧	年初来安値の日			
	1 月～2 月	5 点	3 月～4 月	4 点
	5 月～6 月	3 点	7 月～8 月	2 点
	9 月～10 月	1 点	11 月～12 月	0 点

⑨	年初来高値の日			
	11 月～12 月	5 点	9 月～10 月	4 点
	7 月～8 月	3 点	5 月～6 月	2 点
	3 月～4 月	1 点	1 月～2 月	0 点
⑩	実施時の終値に対する年初来高値・安値の差の割合			
	2 割未満	5 点	2 割以上 4 割未満	4 点
	4 割以上 6 割未満	3 点	6 割以上 8 割未満	2 点
	8 割以上 10 割未満	1 点	10 割以上	0 点

この基準に沿ってできたポートフォリオが以下のものである。合計点の内訳については後述する。ただし、購入時に横田製作所の株の購入ができなかったためポートフォリオは横田製作所を除く１９社で構成した。色付けが施されている企業は第四スクリーニングの際に合計点が高かった８社を示している。７社である理由は先述の通り、横田製作所の株が購入できず、そして上位８社のうちの１つの企業が横田製作所だったためである。また次ページの表は業種別に記してある。

ポートフォリオ名：『日本食』から『世界食』へ

証券コード	１７業種区分	銘柄名	購入金額（円）	構成比（%）	合計点
1381	食品	アクシーズ	276576	5.5	42
1384	食品	ホクリョウ	184240	3.7	28
2753	食品	あみやき亭	233415	4.7	36
2814	食品	佐藤食品工業	242550	4.9	37
2107	小売	東洋精糖	289416	5.8	44
2722	小売	アイケイ	335244	6.7	51
7544	小売	スリーエフ	309270	6.2	47
3176	小売	三洋貿易	215392	4.3	33
7614	小売	オーエムツーネットワーク	335227	6.7	51
8167	小売	リテールパートナーズ	288472	5.8	44
6143	機械	ソディック	197184	3.9	30
6237	機械	イワキ	275520	5.5	42
6265	機械	妙徳	269072	5.4	41
6277	機械	ホソカワミクロン	247450	4.9	38
6291	機械	日本エアーテック	216840	4.3	33
3355	機械	クリヤマホールディングス	189981	3.8	29
7599	商社・卸売	ジーエフシー	262960	5.3	40
3317	商社・卸売	フライングガーデン	249203	5	38
2917	商社・卸売	大森屋	309231	6.2	47

2-3. ポートフォリオについて

このポートフォリオの銘柄ごとの合計点の内訳及び企業概要については以下の通り。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
1381	JASDAQ	食品	アクシーズ

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
42	10	32

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
		○		

柱との関わり

鶏肉の飼育などを行なっているため栽培・生産の柱に関わっていると言える。ケンタッキーフライドチキンや、日本ハムなどと提携しているので、海外展開をして、世界食になることも十分可能だろう。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
1384	東証１部	食品	ホクリヨウ

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
28	10	18

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
		○		

柱との関わり

鶏卵の生産を行なっているため栽培・生産に関わっている。卵にコードが記載せれており、生産農場がわかるなど消費者に安心してもらえるようなサービスも行なっている。このような安心を追求していくことで世界でのニーズを勝ち取ることができるだろう。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
2753	東証１部	小売	あみやき亭

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
31	10	21

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
			○	

柱との関わり

焼肉のチェーン店を経営しているため販売に関わっている。国産牛にこだわっているため、そのスタンスで海外展開していくことで、日本の肉はそこで食べようと消費者にアピールしていくこともできるだろう。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
2814	JASDAQ	食品	佐藤食品工業

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
31	10	21

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
○				

柱との関わり

粉末製品を製造しているため製造に関わっている。粉末化という独自の方法で様々な製品を製造しており、その独特な製品で世界に旋風を巻き起こす可能性も十分考えられるだろう。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
2107	東証１部	食品	東洋精糖

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
35	10	25

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
○				

柱との関わり
砂糖の製造を行なっているため製造に関わっている。砂糖だけでの海外進出は難しいかもしれないが、日本食の調味料として、海外に広まっていくという可能性は十分考えられる。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
2722	東証２部	小売	アイケイ

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
47	20	27

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
○				○

柱との関わり
商品の企画、製造、物流を一貫して行なっているため製造と輸送の二つの柱に関わっている。すでに海外にも進出しているため、その独自のノウハウを生かし世界食になることができるだろう。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
7544	東証２部	小売	スリーエフ

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
35	10	25

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
			○	

柱との関わり
コンビニエンスストアを経営していて、日本食の販売に関わっている。２０１６年にはローソンと合併した新型店舗「ローソン・スリーエフ」が順次オープンし、今後の伸びに期待が持てる。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
3176	東証１部	商社・卸売	三洋貿易

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
29	0	29

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送

柱との関わり

食品機械を輸入し、販売を行なっているが、機械を製造していないため基本点は０点としたが、間接的に日本食と関わっている。また、ペットミルの製造機械を製造しているのでその技術を日本食にも応用していくことも考えられる。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
7614	JASDAQ	小売	オーエムツーネットワーク

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
47	20	27

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
○			○	

柱との関わり

主に食肉にかける調味料の製造、販売、そして焼肉チェーン店なども展開しており、日本食の製造、販売の二つの柱に関わっている。日本全国に展開していて、これからの世界進出に期待が持てる。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
8167	東証２部	小売	リテールパートナーズ

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
38	10	28

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
			○	

柱との関わり

三種類のスーパーマーケットの経営をしていて、日本食の販売に関わっている。西日本を中心に展開しているため、これから日本全体に展開していくことに期待する。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
6143	東証１部	機械	ソディック
合計点及び得点内訳			
合計点		基本点	経済指標点
30		10	20
関わっている柱			
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
	○			
柱との関わり			
食品機械を作っており、機械の製造に関わっている。主に麺類を作る機械を製造しているが、その技術を応用して様々な食品機械を開発し、これから広い分野で活躍していくことに期待する。そうなることにより自然と海外に進出するであろう。			

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
6237	東証２部	機械	イワキ
合計点及び得点内訳			
合計点		基本点	経済指標点
31		10	21
関わっている柱			
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
	○			
柱との関わり			
食品分野に関わるポンプの製造を行っており、機械の製造に関わっている。ビール、マヨネーズなどの製造工程のカバーをしている。ポンプの省略化などの努力もしているため、今後の活躍に期待できる。			

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
6265	JASDAQ	機械	妙徳
合計点及び得点内訳			
合計点		基本点	経済指標点
37		10	27
関わっている柱			
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
	○			
柱との関わり			
食品梱包の機械を作っており、機械の製造に関わっている。その他にも自動車業界にも参入しており、これからは輸送の分野でも活躍し、柱にもある輸送という観点にも当てはまっていくであろう。			

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
6277	東証１部	機械	ホソカワミクロン
合計点及び得点内訳			
合計点		基本点	経済指標点
36		10	26
関わっている柱			
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
	○			
柱との関わり			
食品を作る機械を製造しており、機械の製造に関わっている。かなり広い分野で機械を製造しており、これからの活躍の見込みがある。だが粉末状の製品が多いため、さらに広い分野で活躍していくことに期待する。			

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
6291	東証１部	機械	日本エアーテック
合計点及び得点内訳			
合計点		基本点	経済指標点
31		10	21
関わっている柱			
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
	○			
柱との関わり			
防虫や保冷などの、食品衛生の管理に関する機械を製造しており、機械の製造に関わっている。だが、寄生虫の殺虫や防虫は行っておらず、これからは先述のような対策を行って欲しい。			

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
3355	東証２部	商社・卸売	クリヤマホールディングス
合計点及び得点内訳			
合計点		基本点	経済指標点
26		0	26
関わっている柱			
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
柱との関わり			
農作業用ホースの製造をしており、ホースで海外進出もしている。日本食を作ることには直接な関わりはないので基本点は０点になってしまったが、間接的な関わりがあるため投資先企業とした。また、これから直接的な日本食への参入も見込めるだろう。			

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
7559	JASDAQ	商社・卸売	ジーエフシー

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
32	10	22

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
				○

柱との関わり
食品の輸送を行っていて、日本食の輸送に関わっている。海外事業も進んでいて、私たちの日経 STOCK リーグのテーマにとてもぴったりな企業である。年末年始に力を入れていて、主におせちの運搬などを行っている。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
3317	JASDAQ	小売	フライングガーデン

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
36	10	26

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
			○	

柱との関わり
ファミリーレストランチェーンを経営しているため販売に関わっている。現在は北関東に店舗を展開しているが、長期的な目で見るとどんどん店舗を増やし展開範囲も広くなり海外展開も行ってくるだろう。

コード	上場市場	１７業種区分	銘柄名
2917	JASDAQ	食品	大森屋

合計点及び得点内訳		
合計点	基本点	経済指標点
40	20	20

関わっている柱				
製造	機械	栽培・生産	販売	輸送
○			○	

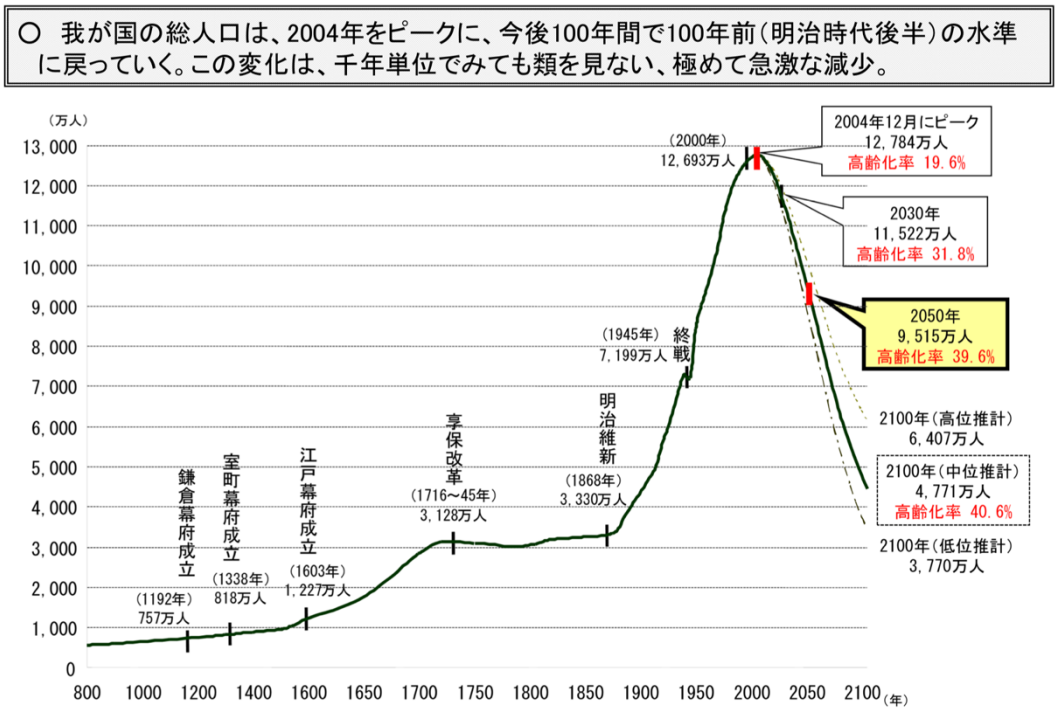
柱との関わり
主に海苔やふりかけの製造から販売を行なっているため製造、販売の二つの柱に関わっている。海苔やふりかけなど日本ならではのもので世界で人気になることも十分にできるだろう。

3. 投資家へのアピール

3-1. テーマの優位性

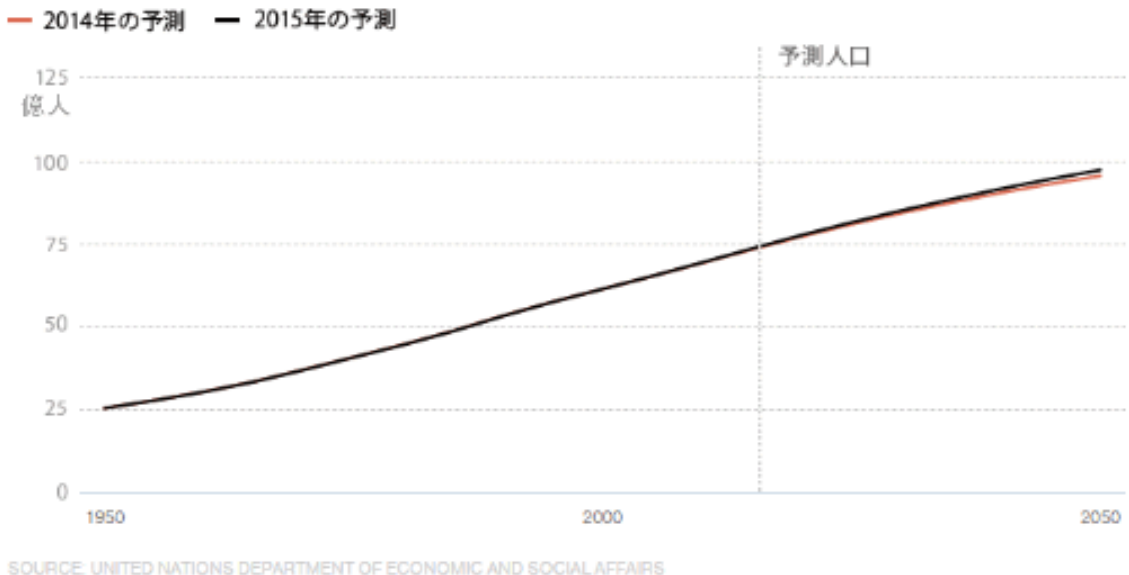
私たちの投資テーマである『日本食』は海外に展開していないと、日本国内だけは下の図（出典：総務省ホームページ）の通り、人口は近年減少傾向にあり、これからも減少が予測

我が国における総人口の長期的推移



出典：「国土の長期展望」中間とりまとめ　概要（平成23年2月21日国土審議会政策部会長期展望委員会）

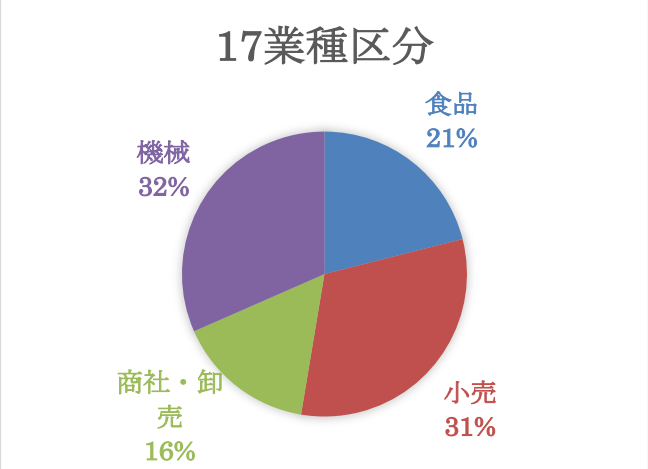
されているため、売り上げを伸ばすのは非常に困難である。しかし、下の図（出典：ナショナルジオグラフィック）は国連の世界人口予測で、世界的に見ると人口は増加傾向にあるため海外展開をすることによって売り上げを伸ばすことができる。そのため海外進出という

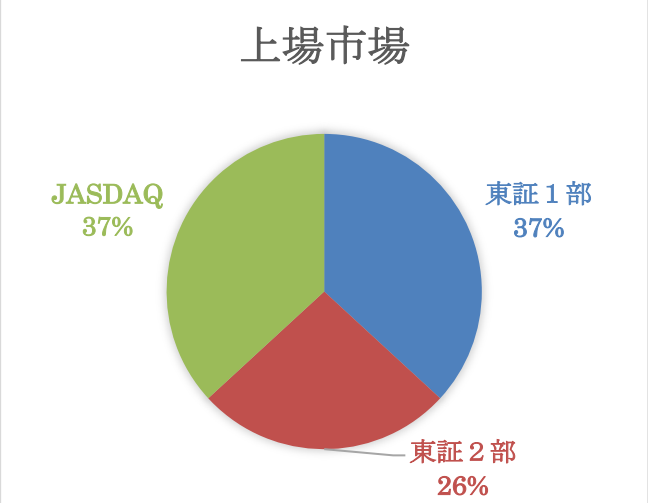


点はこのポートフォリオにおいて非常に重要であると言える。このポートフォリオは海外進出という点を重要視して構築されているため、将来的に売り上げを伸ばしていける企業が多く含まれている。

3-2. ポートフォリオの構成について

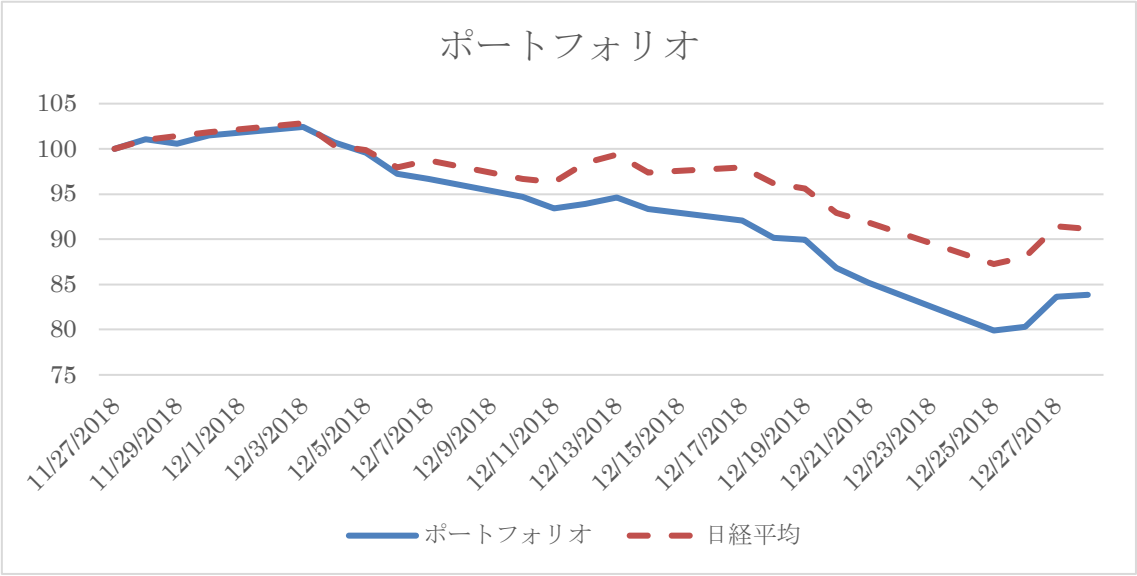
右の表は当ポートフォリオの業種別の比率と上場市場の比率を表したものである。このポートフォリオに含まれる企業の業種は４業種ながらも偏りが少ないため一つの業種が急落したとしても他の業種でリカバリーでき、リスクもそこまで大きいものではない。また上場市場は東証１部と JASDAQ がそれぞれ４割弱を占めており、安定している企業への投資もしつつベンチャー企業に対しても投資ができるポートフォリオになっていて、長期的な目で見るとポートフォリオ全体は上昇していくだろう。また、私たちのテーマに基づきポートフォリオの企業を選出しているため、先ほどのテーマの優位性ということがこのポートフォリオに対しても言えるだろう。

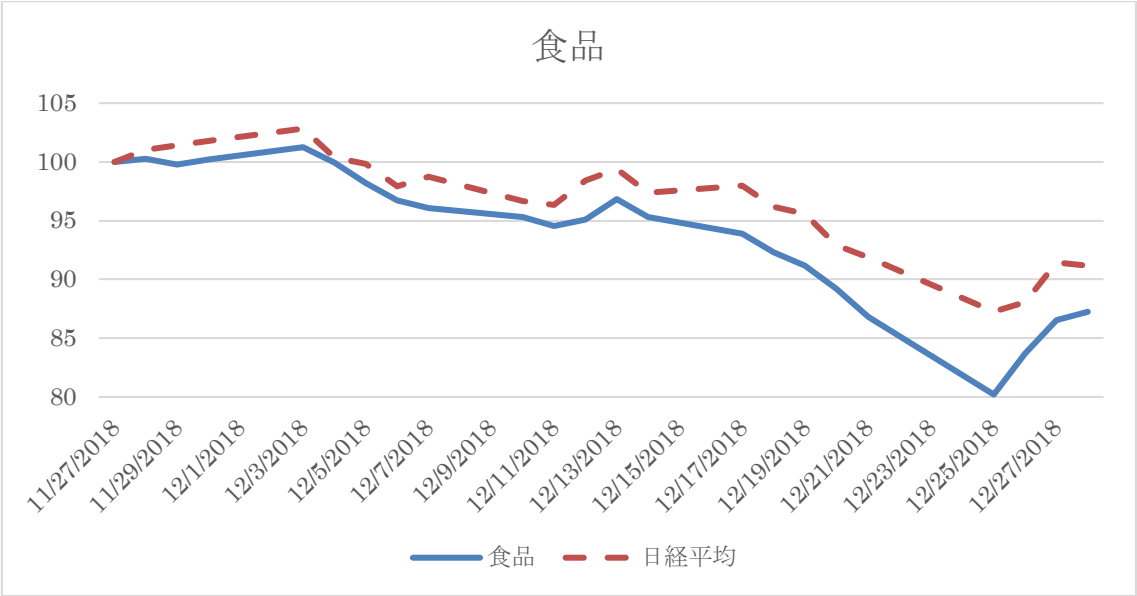


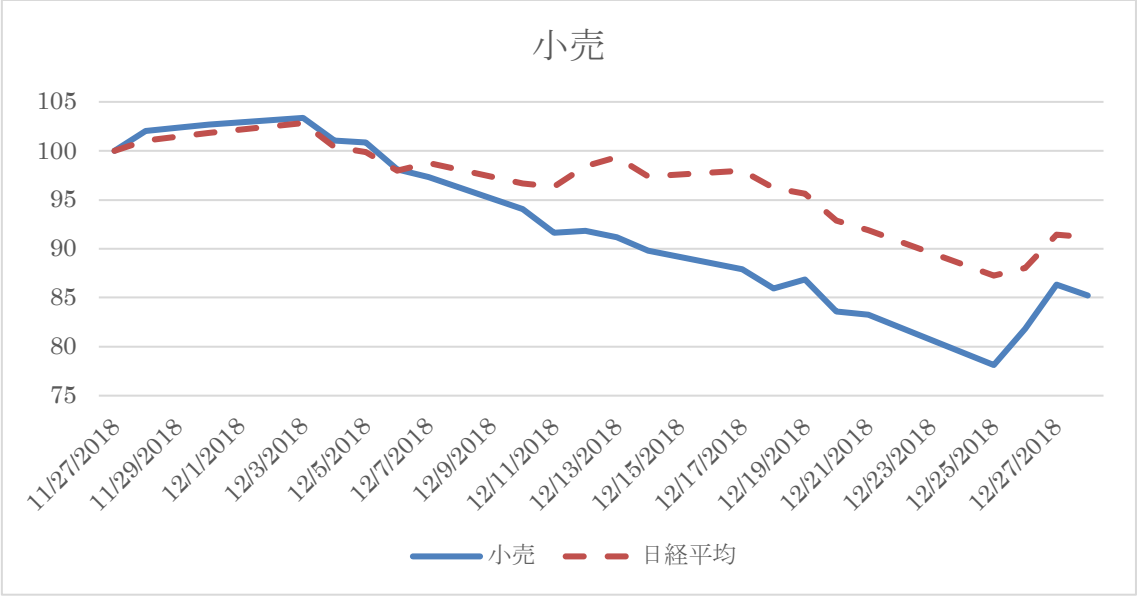


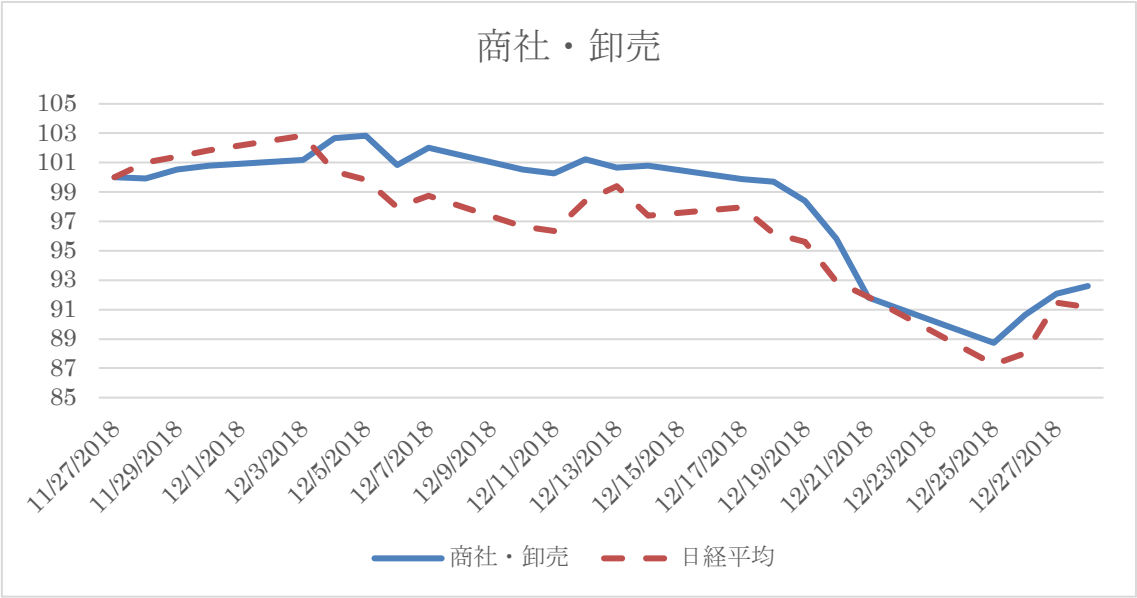
3-3. 評価額の推移について

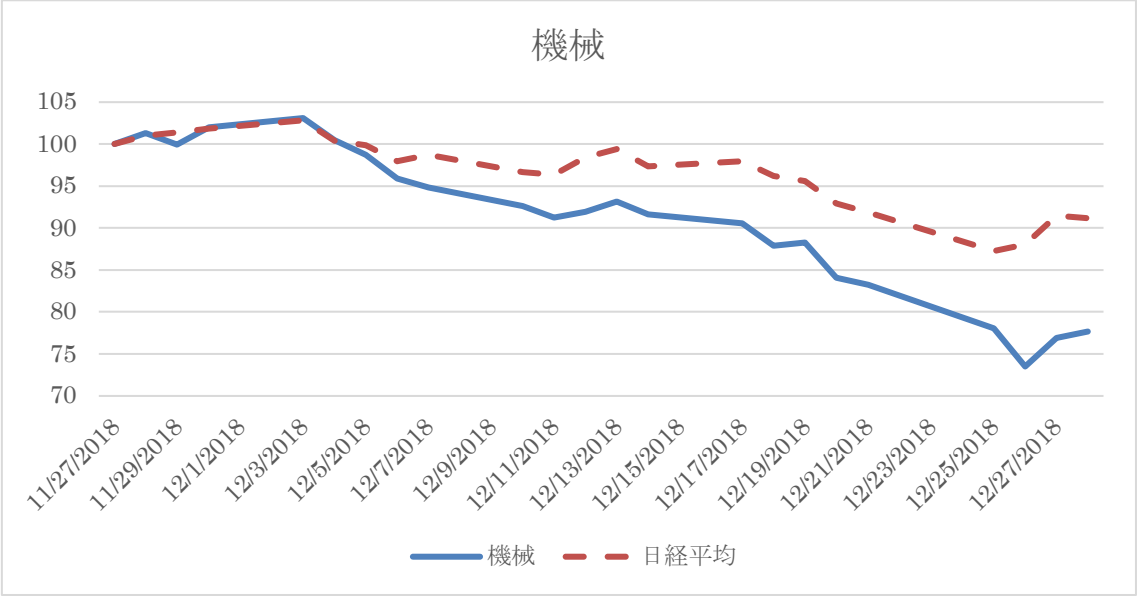
以下のグラフはポートフォリオ及び業種、上場市場ごとの評価額の変動を日経平均株価の変動と比較したものである。データは１１月２７日から２０１８年内までの約５週間のデータを使用して作っている。購入日の１１月２７日の評価額を１００とした際の推移のグラフである。ポートフォリオ全体の評価額は２０１９年１月７日現在約４１４万円である。

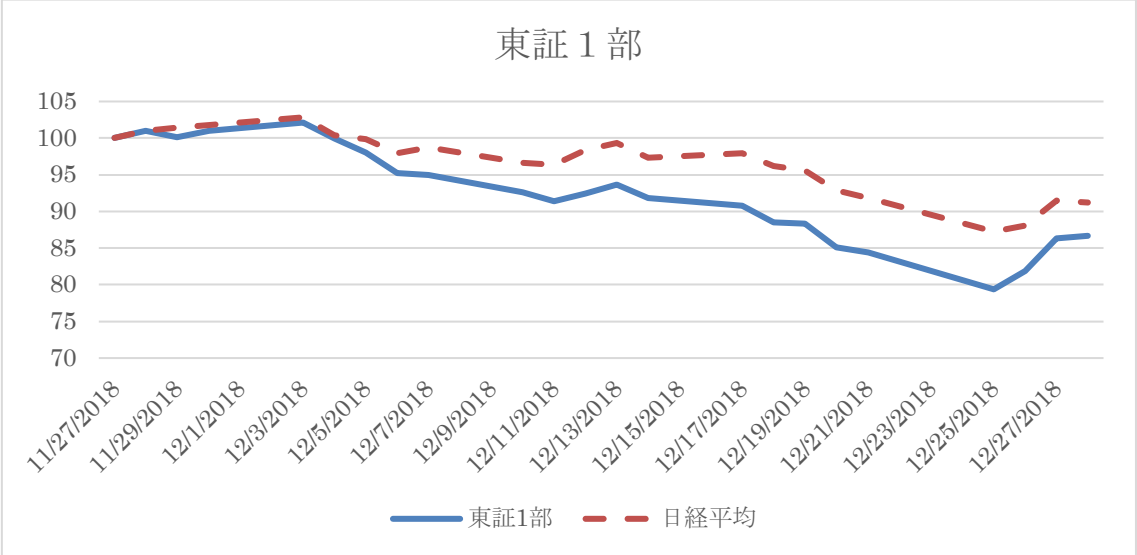

ポートフォリオ
105
100
95
90
85
80
75
11/27/2018
11/29/2018
12/1/2018
12/3/2018
12/5/2018
12/7/2018
12/9/2018
12/11/2018
12/13/2018
12/15/2018
12/17/2018
12/19/2018
12/21/2018
12/23/2018
12/25/2018
12/27/2018
ポートフォリオ
日経平均

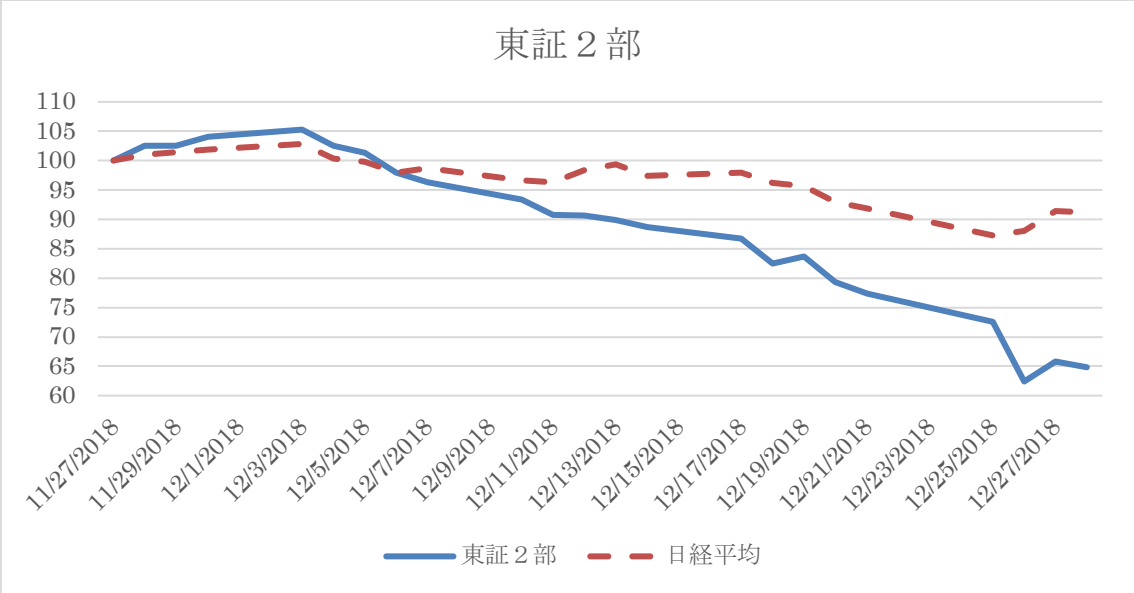

食品
105
100
95
90
85
80
11/27/2018
11/29/2018
12/1/2018
12/3/2018
12/5/2018
12/7/2018
12/9/2018
12/11/2018
12/13/2018
12/15/2018
12/17/2018
12/19/2018
12/21/2018
12/23/2018
12/25/2018
12/27/2018
食品
日経平均

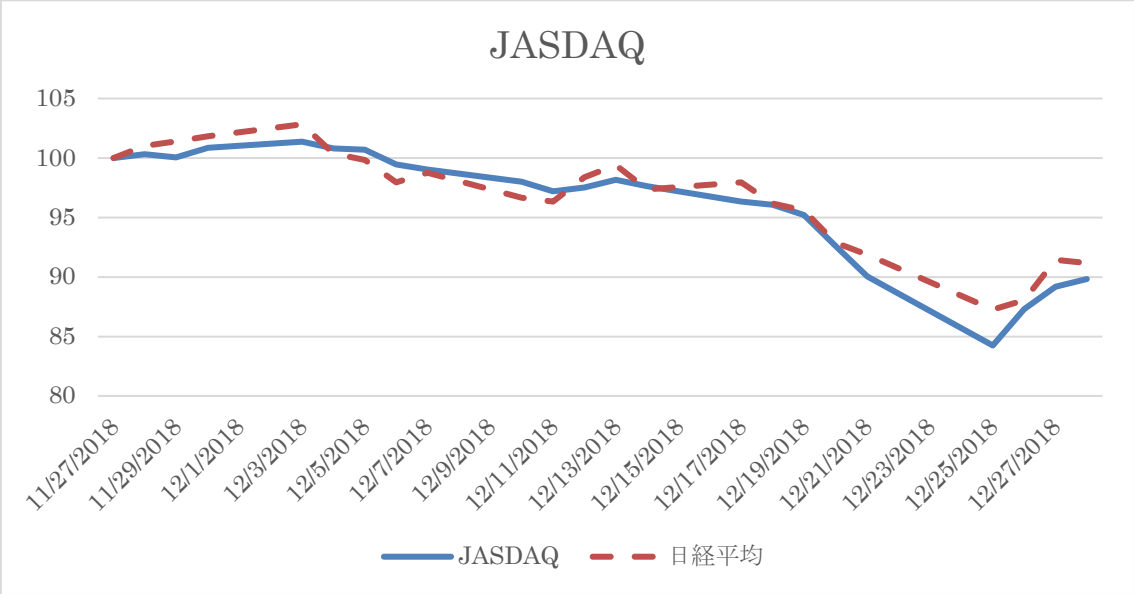

小売
105
100
95
90
85
80
75
11/27/2018
11/29/2018
12/1/2018
12/3/2018
12/5/2018
12/7/2018
12/9/2018
12/11/2018
12/13/2018
12/15/2018
12/17/2018
12/19/2018
12/21/2018
12/23/2018
12/25/2018
12/27/2018
小売
日経平均


商社・卸売
105
103
101
99
97
95
93
91
89
87
85
11/27/2018
11/29/2018
12/1/2018
12/3/2018
12/5/2018
12/7/2018
12/9/2018
12/11/2018
12/13/2018
12/15/2018
12/17/2018
12/19/2018
12/21/2018
12/23/2018
12/25/2018
12/27/2018
商社・卸売
日経平均


機械
105
100
95
90
85
80
75
70
11/27/2018
11/29/2018
12/1/2018
12/3/2018
12/5/2018
12/7/2018
12/9/2018
12/11/2018
12/13/2018
12/15/2018
12/17/2018
12/19/2018
12/21/2018
12/23/2018
12/25/2018
12/27/2018
機械
日経平均


東証１部
105
100
95
90
85
80
75
70
11/27/2018
11/29/2018
12/1/2018
12/3/2018
12/5/2018
12/7/2018
12/9/2018
12/11/2018
12/13/2018
12/15/2018
12/17/2018
12/19/2018
12/21/2018
12/23/2018
12/25/2018
12/27/2018
東証1部
日経平均





これらの表を見ると下がり幅や上がり幅は異なるもののどれも似たような形をしており、日経平均株価の変動と同じような形をしている。ポートフォリオの企業の株価自体は下がっているが、ベンチャーや若い企業というイメージが強い JASDAQ 銘柄だが、今回選んだ７社は良い結果となっており、その力強さを感じることができる。そのため、特にリスクが大きいわけではなく、これからの成長が大きく見込めるポートフォリオになっている。

4. 日経 STOCK リーグを通して学んだこと

今回私たちは、「メイドインジャパン」という題材で日経 STOCK リーグを始めようとしていたが、５月中旬に立教大学の「食のグローバル化」の講演を聞いた時に、私たちのテーマは「メイドインジャパンの食」という形で落ち着いた。「メイドインジャパン」といってもとても広い世界であることに気づかされた。

その後、「メイドインジャパンの食」を「日本食」と呼ぶようになり、「食のグローバル化」の講演後、私たちの中に生まれた疑問を、日本食の生産者から、消費者に届くまでのプロセスに関わっている企業に伺おうと思い、企業訪問の機会を指導教員の内田先生に設けていただいた。その際訪問させていただいた企業は、イシダ、イトーヨーカ堂、キリンの３つ、そして日清からはメールでの返信をいただいた。回答をまとめると、どの企業も海外のニーズに応えるために努力している、ということだった。イシダは海外でのシェアの割合で世界２位を誇り、イトーヨーカ堂は親子会社の関係を持たない、自社と対等な事業会社を海外で作り、その会社が自国のニーズに応えるという形を作っており、キリンは海外でのお酒の飲まれ方やお酒を飲むときのおつまみなどを考慮した製品の開発を行なっていて、日清では出前一丁など、現地の人に愛されるような製品を追求していた。

日本食の強みは海外展開であるが故に、現地の人のニーズや文化、生活などを理解するということは避けて通れないことであるのだと実感した。私は日本食が世界食になるためには、『現地の消費者のニーズそれぞれに応えること」が非常に重要であり、また『自国と外国が互いに理解しあうこと』も大切であるということに気づいた。

5.参考文献

農林水産省ホームページ
http://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/zisseki.html

総務省ホームページ
http://www.soumu.go.jp/main_content/000273900.pdf#search=%27 日本+人口推移%27

ナショナルジオグラフィック
https://natgeo.nikkeibp.co.jp/atcl/news/15/080600214/

表紙画像
https://www.intage.co.jp/gallery/yasaikoutou2017/
https://jp.123rf.com/photo_37789914_%E6%96%B0%E9%AE%AE%E3%81%AA%E6%9E%9C%E7%89%A9%E3%82%84%E9%87%8E%E8%8F%9C%E3%81%AE%E9%A3%9F%E6%96%99%E5%93%81%E5%BA%97%E3%81%A7%E8%B2%A9%E5%A3%B2.html

以　上